

石川県内の学校関連のトキへの取り組み

・能美市立和気小学校の取り組み

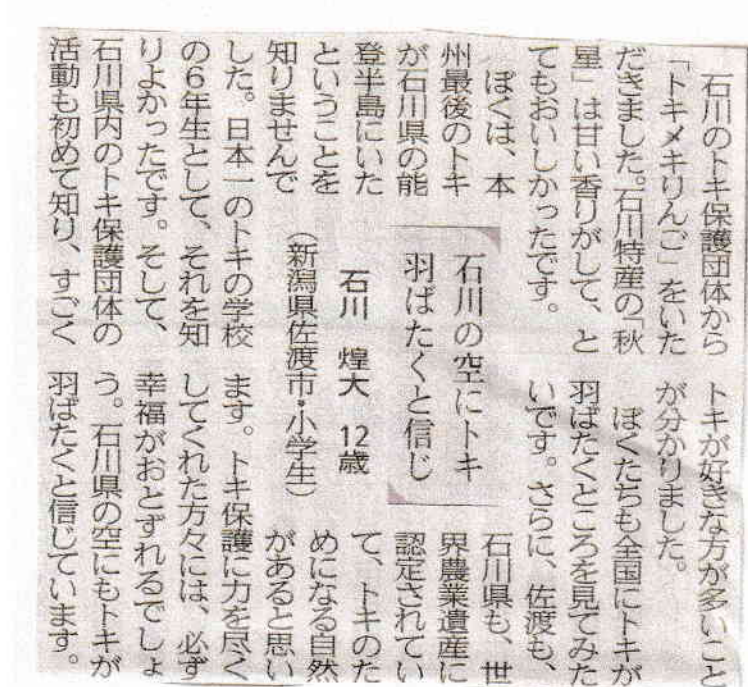
能美市和気小学校六年生の児童三十人は、同市のいしかわ動物園で、国の特別天然記念物トキについての学習成果を発表した。

和気小では、二〇一七年度から六年生がトキの学習に取り組む。今年は「トキとの共存」をテーマに、動物園の職員や、NPO法人日本中国朱鷺（とき）保護協会の西屋馨事務局長らから、トキの生態や環境保護について学んできた。

児童は「トキの餌はカエルやドジョウで、長く曲がったくちばしで捕まえる」などと生態を紹介。トキの絶滅は、乱獲やすみかとなる森林の伐採が原因と説明した。「共存するために、人間がトキに必要な環境をつくるのが大切」と指摘し、無農薬栽培の田んぼで餌の豊富な環境を整えることや、森林の保護を訴えた。トキを知ってもらうため児童が作ったキャラクターやポスターも披露した。

上尾光輝君（12）は「トキがすめる環境を守りたい」と話した。（井上京佳）

・2021年12月8日 北國新聞地鳴



石川県立津端高校 朱鷺サポート隊

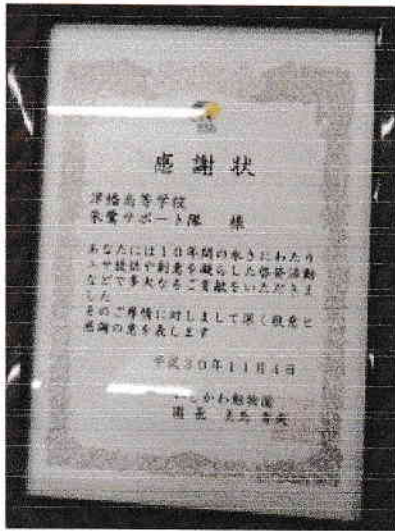
全ての記事 5件

[感謝状をいただきました](#)

[投稿日時: 2018/11/08](#)

「朱鷺サポート隊」は本校の園芸部が中心となって活動しているボランティアグループです。

このたび、10年間の活動が認められ「いしかわ動物園」様より感謝状をいただきました。



5月12日（土）15：00～17：00に津幡高校農業実験室にて、地域の方など一般の方を対象とした「トキ折り方教室」を行います。

この日に折ったトキで千羽トキを作成し、中国陝西省漢中市洋県（せんせいしょうかんちゅうしょうけん）で行われる「第1回朱鷺国際フォーラム」に、中国のトキの繁栄と、日中友好の輪として、贈呈する予定です。

お時間のある方は是非ご参加下さい。

※なお、この「トキ折り方教室」については、本日の北國新聞さんでも紹介していただきました。<http://www.hokkoku.co.jp/subpage/HT20180511401.htm>

いしかわ動物園での新年イベント

投稿日時：2018/01/04

新年あけましておめでとうございます。

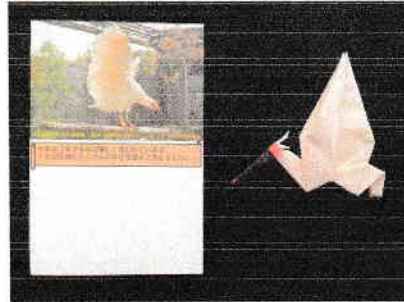
昨日、いしかわ動物園での新春イベントに参加しました。古くから『トキは幸せを呼ぶ鳥』と言われており、「トキのポストカード」と、昨年一年間トキ里山館でトキを見守っていた「千羽トキ」の配布を行いました。本校生徒4名に加えて、NPO法人日本中国朱鷺保護協会の方3名、OBが4名来てくれました。気温も低く来園者も少なかったですが、来てくださった方々には喜んでいただくことができました。

また、新年ということで、新しい千羽トキも贈呈いたしました。

今年も朱鷺サポート隊をよろしくお願いします。

※ポストカードの写真のトキは（ななみ14歳、メス）です。提供：いしかわ動物園





遅くなりましたが、朱鷺サポート隊の4月の活動を報告致します。

4月21日に石川県日本中国友好協会が主催する2017日中国交正常化45周年記念大会にて、駐名古屋中華人民共和国総領事館の鄧偉総領事(トウ・イ そうりょうじ)に千羽トキを贈らせていただきました。

今後は大使館や、全国各地の領事館にも贈らせていただきたいと思います。



「トキの絵本」「トキのポスター」「マグネットステッカー」の配布

ご報告が遅くなりましたが、5月19日(金)と5月22日(月)に津幡町内の全ての小学校、保育園・幼稚園、学童保育(合計36施設)に「ねえトキってしてる？」絵本と「ニッポンをもういちど日本の空へ」ポスター及びマグネットステッカーの配布活動を行いました。

配布した各施設の子供たちには大変好評で、これをキッカケに少しでもトキのことを知ってもらえたら嬉しいです。



